

2023年6月ハイパーカレンダーレポート

6月ももう終わり、新しい環境になって第1四半期が終わった。そろそろ環境に慣れてきた人も多い時期だろう。私もその一人である。学生から社会人へという大きなギャップに、最初は実感すら湧かなかったが、いつの間にかこの生活に慣れてきていた。4月は会社にいる間、ずっと無意識のうちに肩の力が入っていた。だが新人研修の一つであった「社員全員と話す」ということ、そして少しずつ仕事に関わらせて貰ううちに、自然と肩の力が抜けてきたように思う。それもこれもスタッフみなさんの何気ない気遣い、そのおかげではないかと今では感じている。

さて、そんな私が関わらせて貰った業務は、「大分県 ICT 教育サポーター育成プラットフォーム」という事業だ。4月から私も ICT 教育サポーターとして、毎週学校を訪問、生徒や先生方を支援している。そのプラットフォームでは、毎月サポーターのための定例会を通常 ZOOM で行っているが、今月6月には、約40人のサポーター全員が集まるオフラインでの定例会&フォローアップ研修を、大分県庁の大会議室で開催した。そこには県教委をはじめ、有識者やメディアの方々も参加した。というのも、第1回カンファレンスと銘打ち、前半は大学や企業等の有識者5名による興味深い講演会を実施、後半はサポーターからの現場報告、そして生成系 AI チャット GPT を使ってのフォローアップ研修を行ったのだ。普段はスラックを用いてコミュニケーションをとっている仲間たちと、直接会って会話することができて、有意義な時間が過ごせたのではないだろうか。

他にも、この3ヶ月間には様々なことがあったが、アイデアソンにおいてはメンター役に挑戦した。3月までは高校生だったので、これまでの生徒目線だったものから、メンター役として参加したことはとても新鮮であり、新しい発見があった。また新人研修プログラムでは、アイデアソン参加が残っていたので、今度はメンターとしてではなく、一般参加ということで、大分県立芸術文化短期大学でのアイデアソンに取り組んだ。それはサービスラーニング講義の一環であり、学校の垣根を超えた AI 授業をテーマとし、芸短大を含めた4校の学生さん（大分大学、日本文理大学、IVY 大分高度コンピュータ専門学校）に交じって私も参加、冒頭には ISIT 上村氏と CAOS 宮崎氏による DX や今話題のチャット GPT 等、AI に関する講演で、後半が学生同士のコミュニケーションを含めた「チャット GPT を活用したアイデアソン」だった。

ところで、最近 HTML の勉強を始めた。私は絵を描くことが好きなのでデザインに興味があり、ウェブエンジニアリングに目覚めたのだ。ということもあり、私のボスであるハイパー研理事長と所長のイラストを描いてみたので、どうぞご覧ください。

(文責：有廣美優)



村上憲郎



青木栄二